

令和6年度使用小学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 特別の教科 道徳

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	道徳 112 212 312 412 512 612	新編 あたらしいどうとく 1 新編 新しいどうとく 2 3 4 新編 新しい道徳 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・6年間を通して道徳性を高められる内容構成になっている。 ・目次の後に、内容項目を4つの観点に分けて書かれたページがある。 ・「演じて考えよう、やってみて考えよう」「問題を見つけて考えよう」等の表現活動が提示されている。 ・すべての教材に二次元コードがあり、映像等、児童の関心や興味を引くものが示され考える手立てになっている。 ・道徳ノートはないが、二次元コードを読み込むとその教材のワークシートを出すことができ、学習の足跡を残しやすくなっている。 ・郷土を愛する心を取り扱う教材がある。 ・1年は、絵や写真が大きく、優しいタッチの挿絵が多く、親しみやすい。 ・他の学年も挿絵が多く親しみやすい。 ・学習者の印象に残る写真が多く掲載されている。 ・新型コロナウイルスに関する内容は3年以上で取り上げられている。 ・UDフォントである。 ・人物を扱った教材では、男性の扱いが多い。 ・いじめ問題を直接扱った内容はやや少ない。 ・伝統や文化に関する教材が多く、内容が充実している。 ・SDGsに関する内容を発達段階に応じて取り扱っている。 ・題材のバランスが良く、様々な内容について考えることができる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教 出	1 7	道徳 113 213 313 413 513 613	しょうがくどうとく 1 はばたこうあすへ 小学どうとく 2・3 はばたこう明日へ 小学道徳 4・5・6 はばたこう明日へ	<ul style="list-style-type: none"> ・目次にも内容項目が表示してあり体験的・問題解決的な教材がやや多い。 ・教材の下部に言葉の意味が表記されている。 ・最後に「ふかめよう」があり、自分の生活に落とし込む工夫がある。 ・どの学年も学習で学んだことを今後の生活に繋げたり広げたりする項目が示してある。 ・巻末の二次元コードには、教材の原本が紹介され、教材の最初の二次元コードは教材の解説にリンクするよう工夫されている。 ・情報モラルは、各学年に1教材の取り扱いがある。 ・いじめ教材各学年2教材扱っている。 ・紙質がやや固い。 ・紙面の白みがやや強い。 ・UDフォントを使用しているがやや見にくい。 ・人物を取り扱った教材では、男性の扱いが多い。 ・コラム等で取り上げられる男女比に偏りがある。 ・自分の考えを整理するための話し合い活動や役割演技などの場面設定がやや少ない。 ・伝統や文化に関する教材が多く、内容が充実している。 ・SDGsに関する内容を発達段階に応じて取り扱っている。 ・いじめ問題を直接扱った内容はやや少ない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
光 村	3 8	道徳 114 214 314 414 514 614	どうとく 1・2・3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4・5・6 きみが いちばん ひかるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のバランスがよく、様々な内容について考えることができる。 ・「話合いのコツ」「心を通わそう」「考える準備体操」「学びの道具箱」と話合いの具体的な方法が提示され、考えを深める手助けとなる。 ・「考えるヒント」として、思考ツール、役割演技、活動のアイディア、道徳で使う言語（話形）などが紹介されている。 ・役割演技が多く紹介されており、子どもが役になりきって多面的に捉えやすい。 ・最後に「つなげよう」があり、自分の過去や未来の生活を考えさせる工夫がされている。 ・二次元コードから、範読や資料にリンクしている。 ・1年から4年まではシールを活用し、学びの記録を残すことができる。 ・5年、6年は一言感想で学びの記録を残すことができる。 ・紙面に少し黄みがかかった色がついていて、やわらかい感じがする。 ・いろいろなタッチの見やすい挿絵が多く親しみやすい。 ・B5版である。 ・UDフォントである。 ・伝統文化に関する内容は、やや少ない。 ・SDGsに関する内容を発達段階に応じて取り扱っている。 ・他者への思いやりや、人権意識を深めることができるいじめ問題を直接的に扱った内容はやや多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	道徳 115 116 215 216 315 316 415 416 515 516 615 616	しょうがくどうとく いきるちから 1 しょうがくどうとく いきるちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる力2・3 小学どうとく生きる力 2 どうとくノート 3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4・4道徳ノート 5・5道徳ノート 6・6道徳ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に道徳の学び方として、自分の考えを基に、考えを深めていく方法が、写真などでわかりやすく提示されている。 ・「ぐっと深める」「心のベンチ」などの役割演技、書く活動、考えを整理する手立てが具体的に記されたページがある。 ・道徳ノートもあるが、教科書にも自分の考えを書き込めるページがある。 ・発問が2つに絞られていて、クラスや個々の児童の実態に合わせて発問を柔軟に考えられるようになっている。 ・リード文と登場人物の紹介があり、教材の内容理解の助けとなる。 ・教材の最後に考えを広げるコラムがあり、多面的な見方ができる。 ・二次元コードで動画、音声、画像、ワークシートなど豊富な資料とリンクしている。道徳ノート、デジタルノートの使用が選べるようになっている。 ・二次元コードの中に心のバロメーターがあり、自分の考えを見える化ができる。 ・文字が見やすいUDフォントである。 ・ジェンダーの教材があり、2年から取り扱っているが、女子の持ち物やランドセルがすべて赤系になっている。 ・別冊の道徳ノートがある。 ・生命や自然、崇高なものとの関わりに関する教材がやや少ない。 ・伝統や文化に関する教材が多く、内容が充実している。 ・他者への思いやりや、人権意識を深めることができる、いじめに関する教材がやや多い。 ・人物を扱った教材では、男性の扱いが多い。 ・SDGsに関する内容の取扱いはやや少ない。 ・複数学年で震災の取扱いがある。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
光 文	208	道徳 117 217 317 417 517 617	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学道徳 ゆたかな心 4年・5年・6年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年から6年まで表紙にストーリー性があり、6年には宇宙をイメージする表紙となっている。 ・ 目次のページに各主題の説明とマークの紹介があり、マークごとにその資料で考えるべきことがわかるようになっている。 ・ UDフォントである。 ・ 思考ツールが具体的、系統的に紹介されている。 ・ 展開が4段階にパターン化されている。 ・ 別冊を除くと、6年を除いて総ページ数は一番多い。 ・ 巻末の「学びの足あと」で記録を残すことができる。 ・ 二次元コードが少ないが、教材に関する映像が見られ、児童の関心や興味を引きものが示されている。 ・ 1年は紙芝居風の教材が多く、興味をひきやすい。一方、漫画風の教材についてはやや読みにくい。 ・ SDGsに関する内容を発達段階に応じて取り扱っている。 ・ 題材のバランスが良く、様々な内容について考えることができる。 ・ どの学年も学習を通して学んだことを今後の生活に繋げたり、広げたりする項目が示してある。 ・ 情報モラルについて、各学年の発達段階に応じた内容の教材が取り扱われている。 ・ 今日的課題に対応する内容としてLGBTに関する教材が取り上げられている。 ・ 他者への思いやりや、人権意識を深めることができるいじめに関する教材がやや多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
学 研	2 2 4	道徳 118 218 318 418 518 618	新版 みんなのどうとく 1・2・3 新版 みんなの道徳 4・5・6	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介カードの内容が県のキャリアノートの内容と重なっている。 ・紙面に少し色がつけてあり、優しく見やすい。 ・情報モラルは、1年から6年まで、学年に応じた教材になっており、系統的な学習がしやすい。 ・題字の下のリード文がやや抽象的である。 ・教科書に考えを書き込むページもある。 ・「いのち」を最重要テーマに置いているために、他のテーマがやや少ない。 ・目次の字がやや小さい。 ・UDフォントだが、文字がやや細い。 ・どの学年においても、総ページ数はやや少ない。 ・数は多くはないが二次元コードで、教材に関係する映像を見たり、ワークシートを使用したりすることができる。 ・自他の生命について、深く考えることができる人権・福祉に関する内容が多く取り上げられている。 ・SDGsに関する内容を発達段階に応じて取り扱っている。 ・他者への思いやりや人権意識を深めることができるいじめに関する教材がやや多い。 ・人物を扱った教材では、男性の扱いが多い。 ・各教材の最後に「考えよう」という視点が2つずつ示されているが、抽象的である。 ・学んだ価値をさらに深めるための特設ページ「心のパスポート」が多くの教材で示されている。 ・人物を扱った教材は先人だけではなく、今活躍する人たちも多く取り上げている。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

特別の教科 道徳

観点別評価

「◎」 優れている

「○」 標準的

「△」 やや劣る

選定の観点	選定の視点	東書	教出	光村	日文	光文	学研
学習指導要領との関連	1 学習指導要領に示されている道徳科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	○	○	○
	2 言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○	◎	○	○	△
	3 自己の生き方について考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか。	○	◎	◎	○	○	○
	4 多面的な見方ができる工夫がされているか。	○	○	◎	◎	◎	△
内容	1 理解しやすく、主題がとらえやすいものになっているか。	◎	○	◎	○	◎	△
	2 他の教科等との関連が必要に応じて取り上げられているか。	○	○	○	○	○	○
	3 自他の生命の尊重、規範意識、他者への思いやりが重点的に取り上げられているか。	○	○	○	○	○	○
	4 伝統や文化に関する関心を高める工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎	○	○
	5 体験活動と結びつけることができる工夫がなされているか。	○	○	○	○	○	○
	6 ボランティア精神、家族の絆、助け合う心の大切さ等、震災の教訓を踏まえた内容が取り上げられているか。	○	○	○	◎	○	○
	7 郷土に対する認識を深め、先人や高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育む工夫がなされているか。	○	○	○	○	○	○
構成・分量	1 内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○	△	○	△
	2 児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	○	○	○	○	○
表記・表現	1 表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	◎	○	◎	○	○	○
	2 文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	○	○	○	○
	3 ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	◎	△	○	○	◎	△